

令和7年度 社会福祉法人吉祥会 寒川ホーム 介護老人福祉施設・短期入所生活介護

事業計画書・事業報告書

作成者
管理者 高野将樹

理念	すべての人と地域に、介護を通じて3K（歓喜・革新・開花）を実現します。			令和6年度 法人の振り返り（評価・今後の課題）※前期比
方針	1. すべての人（スタッフ・お客様）が歓喜できる人生を目指します。 2. 革新する姿勢を忘れずに、常に成長することを目指します。 3. 地域のさらなる開花を目指します。			①稼働 → 介老▲0.4%・訪介▲13.5%・短期+1.9%・通所+5.2%・居宅±0 / 収入 → 600万円増
				②人件費 → 3,800万円増 / 年間勤務時間数 14%増（16,900時間） / 常勤換算数 60 → 68名
				③前年度同様、キャリアアップを目指すスタッフ数の増減なし → 研修受講率 17.5%/介護福祉士数 横ばい
				④受託事業等25件 外部連携強化により、利用申込やスタッフ応募数が伸びた。応募数 23名→39名
⑤新事業関連→スタッフ福利厚生・採用強化目的の事業立案、R7年度着工に向け準備を進めることができた				
	令和5年度（実績）	令和6年度（見込）	令和7年度（目標）	令和6年度 事業所の振り返り（評価）
事業収入（円）	279,159,042	286,000,000	287,970,000	①空床を埋める期間と入院期間の長期化のため稼働率としては例年通り91.5%に留まってしまった。
稼働状況	91.7%	91.3%	94.0%	②常勤換算19.1⇒21.4と人員は多いがサービス内容、業務内容に変化がなく新しい取り組みもなかった。
人件費率	57.4%	65.7%	67.5%	③新しく資格取得を目指すスタッフはいたが偏りがあり、現状維持のままを希望するスタッフの割合の方が多いのが現状。
利益率	4.4%	-4.0%	-4.1%	④受託事業12件：介護大会2件・研修2件・授業1件・ロボ6件・職場体験1件 ※但し参加職員に偏りがある
人時生産性（円）※全体	161	-150	-	⑤その他として個別機能訓練加算取得・技能実習（海外からの来日）5名の受け入れ

法人目標	/	組織・事業所の生産性向上を進める ～ 当たり前(常態化)の見直しと革新的な取り組みからの増益・削減 ～
事業所目標	/	①退所後,最低1週間以内の入所を行い稼働率を改善する ②業務、経費、時間の削減を実現する
目標数値	/	①稼働率94%以上（定員規模別稼働率の平均93.1%） ②エリア・委員会で計6つ以上の業務・経費・時間の削減（例：業務内容や時間の見直し・水道光熱費の節約・日用品の節約等）

月計画		評価 ※感想ではない
4月	①責任者間で実質、実行可能な計画書作成 ②エリア会議、3大委員会で会議開催し実施計画書の作成	
5月～	①毎月の評価と代替の必要性の判断実施	
8月	②計画に対しての進捗の確認と評価	
9月	①上半期評価と後期に向けて評価 ②・各会議、委員会にて上半期評価 ・後期に向けての新たな立案または継続が必要かの妥当性判断	
上半期評価		
実績・達成度 （目標との比較）		

令和7年度 社会福祉法人吉祥会 寒川ホーム 通所介護 事業計画書・事業報告書

作成者
管理者 植田洋平

理念	すべての人と地域に、介護を通じて3K（歓喜・革新・開花）を実現します。			令和6年度 法人の振り返り（評価・今後の課題）※前期比
方針	1. すべての人（スタッフ・お客様）が歓喜できる人生を目指します。 2. 革新する姿勢を忘れずに、常に成長することを目指します。 3. 地域のさらなる開花を目指します。			①稼働 → 介老▲0.4%・訪介▲13.5%・短期+1.9%・通所+5.2%・居宅±0 / 収入 → 600万円増
				②人件費 → 3,800万円増 / 年間勤務時間数 14%増（16,900時間） / 常勤換算数 60 → 68名
				③前年度同様、キャリアアップを目指すスタッフ数の増減なし → 研修受講率 17.5%/介護福祉士数 横ばい
				④受託事業等25件 外部連携強化により、利用申込やスタッフ応募数が伸びた。応募数 23名→39名
				⑤新事業関連→スタッフ福利厚生・採用強化目的の事業立案、R7年度着工に向け準備を進めることができた
	令和5年度（実績）	令和6年度（見込）	令和7年度（目標）	令和6年度 事業所の振り返り（評価）
事業収入（円）	82,791,896	86,000,000	86,000,000	①稼働率4.2%上昇。平均介護度の低下、要支援利用者の増もあり上昇値程、増収となっていない。
稼働状況	93.5%	98.7%	98.7%	②常勤換算8.9人。前年度と変化なし。人員配置より体制加算取得。人員をサービスへの還元不十分。
人件費率	57.4%	60.9%	58.6%	③新たに資格を取得したスタッフはいない。内・外研修への参加は一定数いるが有資格者のみ。
利益率	6.0%	-1.6%	1.0%	④介護ロボの実証を2件受託。
人時生産性（円）※全体	161	-150	-	⑤記録のデジタル化・動態の見直しから効率化推進。

法人目標	/	組織・事業所の生産性向上を進める	～ 当たり前(常態化)の見直しと革新的な取組みからの増益・削減 ～
事業所目標	/	既存のデイサービスから脱皮する	～寒川ホームデイサービス固有のイメージを確立する～
目標数値	/	稼働率98%以上	

月計画		評価 ※感想ではない
4月～ 業務負担のムラと業務のムダを洗い出し、一層の効率化を図る。令和7年度版の動態が完成している。		
6月 ①個別面談と事業所会議を行い洗い出す。 ②研修を実施し必要なスキルUPを図り、業務負担のムラを無くす。		
4月～ 寒川ホームデイサービスのイメージを探る。ケアマネ事業所へアンケートを実施。		
5月		
7月～ 寒川ホームデイ特有のサービスを検討し実施する		
9月 Instagram以外の広報方法を実行する。		
上半期評価		
実績・達成度 (目標との比較)		

令和7年度 社会福祉法人吉祥会 寒川ホーム 訪問介護 事業計画書・事業報告書

作成者
管理者 船山純子

理念	すべての人と地域に、介護を通じて3K（歓喜・革新・開花）を実現します。			令和6年度 法人の振り返り（評価・今後の課題）※前期比
方針	1. すべての人（スタッフ・お客様）が歓喜できる人生を目指します。 2. 革新する姿勢を忘れずに、常に成長することを目指します。 3. 地域のさらなる開花を目指します。			①稼働 → 介老▲0.4%・訪介▲13.5%・短期+1.9%・通所+5.2%・居宅±0 / 収入 → 600万円増
				②人件費 → 3,800万円増 / 年間勤務時間数 14%増（16,900時間） / 常勤換算数 60 → 68名
				③前年度同様、キャリアアップを目指すスタッフ数の増減なし → 研修受講率 17.5%/介護福祉士数 横ばい
				④受託事業等25件 外部連携強化により、利用申込やスタッフ応募数が伸びた。応募数 23名→39名
				⑤新事業関連→スタッフ福利厚生・採用強化目的の事業立案、R7年度着工に向け準備を進めることができた
	令和5年度（実績）	令和6年度（見込）	令和7年度（目標）	令和6年度 事業所の振り返り（評価）
事業収入（円）	22,163,537	18,800,000	17,000,000	①4～2月の事業収入平均は約158万円であるが、10～2月の下半期の平均は143万円と下がっている。
稼働状況	5,108件	4,416件	3,972件	②稼働時間は大幅に減っており(約780時間減・前年比約22%減) 登録ヘルパー退職1名はあったが、人件費率は増加している。
人件費率	75.7%	90.4%	98.9%	③介護福祉士数の退職者1名分マイナスはあるが、その他の変動はなし。（介護福祉士6名／7名）
利益率	14.4%	-2.7%	-11.1%	④受託事業(研修・授業・自治会・ロボ認証)は0件。
人時生産性（円）※全体	161	-150	-	⑤新規が滞り、帯での活動が著しく減っていることが稼働・収入減にも繋がっている。ケアマネへの営業は行っている。

法人目標	/ 組織・事業所の生産性向上を進める ～ 当たり前(常態化)の見直しと革新的な取り組みからの増益・削減 ～		
事業所目標	/ ①一人ひとりの意識改革とチームワークの活発化により、増益を目指す【歓喜・革新】 ②ICTの活用・業務のスリム化を図ることで業務効率を上げる【革新・開花】		
目標数値	/ ①事業収入：年間1,800万円（月150万円）以上 ・ 月の新規ご利用者受け入れ：1名以上 ②ICTの活用可能業務への移行：1つ以上		

月計画		評価 ※感想ではない
4月～【勉強会】接遇 5月【勉強会】感染症・食中毒の予防及び蔓延防止		
6月～【勉強会】自立支援 7月 事業所内研修の実施 【勉強会】プライバシー保護の取り組み		
8月～【勉強会】倫理・法令遵守 9月【勉強会】事故発生・再発防止		
上半期評価		
10月～【勉強会】認知症及び認知症ケア 11月 事業所内研修の実施【勉強会】観察についての研修		
12月～【勉強会】緊急時対応 1月【勉強会】人権擁護・虐待防止		
2月～ 事業所内研修の実施 【勉強会】感染症・災害時の事業継続計画 3月 個別研修計画 取組結果確認【勉強会】3月：ハラスメント		
実績・達成度 (目標との比較)		

令和7年度 社会福祉法人吉祥会 寒川ホーム 居宅介護支援事業所 事業計画書・事業報告書

作成者
管理者 木藤剛

理念	すべての人と地域に、介護を通じて3K（歓喜・革新・開花）を実現します。			令和6年度 法人の振り返り（評価・今後の課題）※前期比	
方針	1. すべての人（スタッフ・お客様）が歓喜できる人生を目指します。 2. 革新する姿勢を忘れずに、常に成長することを目指します。 3. 地域のさらなる開花を目指します。			①稼働 → 介老▲0.4%・訪介▲13.5%・短期+1.9%・通所+5.2%・居宅±0 / 収入 → 600万円増	
				②人件費 → 3,800万円増 / 年間勤務時間数 14%増（16,900時間） / 常勤換算数 60 → 68名	
				③前年度同様、キャリアアップを目指すスタッフ数の増減なし → 研修受講率 17.5%/介護福祉士数 横ばい	
				④受託事業等25件 外部連携強化により、利用申込やスタッフ応募数が伸びた。応募数 23名→39名	
			⑤新事業関連→スタッフ福利厚生・採用強化目的の事業立案、R7年度着工に向け準備を進めることができた		
	令和5年度（実績）	令和6年度（見込）	令和7年度（目標）	令和6年度 事業所の振り返り（評価）	
事業収入（円）	20,218,107	18,580,000	21,800,000	①稼働状況としてはほぼ横ばいの状態が続いている。	
稼働状況	1,470件	1,490件	1,746件	②3月に入職者1名(常勤)と特定事業所加算を取得しなかったことにより令和5年度より16.1%増加している。	
人件費率	94.7%	110.8%	115.5%	③主任介護支援専門員取得の条件を満たす職員がいない。研修等積極的に参加していない状況である。	
利益率	-4.9%	-20.0%	-22.2%	④地域の老人会との交流会を実施した。ケアマネ実習生2名を受け入れして1名入職となる。	
人時生産性（円）※全体	161	-150	-		

法人目標	/ 組織・事業所の生産性向上を進める ～ 当たり前(常態化)の見直しと革新的な取組みからの増益・削減 ～				
事業所目標	/ ①担当件数の増加 ②ケアマネ資格取得職員の増加				
目標数値	/ ①令和8年度実績 10月時点で+22件、3月時点で+44件 ②ケアマネ合格者1名以上				

月計画		評価 ※感想ではない	
4月～ 初期担当ケースの移動(ダブル担当制の導入)についての周知			
5月 ケアマネの仕事について施設内研修の実施			
6月～ ケアプランデーター連携システム・特定事業所加算取得の検討			
8月 ケアマネ受講生に向けての取り組み決定			
9月～ ケアマネ受講生に向けての取り組み実施			
10月 初期担当ケースの移動(ダブル担当制の導入)についての見直し			
上半期評価			
実績・達成度 (目標との比較)			